

このニュースは、NPO 日本文化体験交流塾の活動にご興味をお持ちになった方にお送りしていますが、不要の方は返信メールにてご連絡ください。

第1. 新着ニュース

◆ 1. ☆☆通訳案内士新人研修 (関西) 募集開始! ☆☆

経験豊富なベテラン講師陣による実戦に即役立つ研修と好評を博している IJCEE の関西地区新人研修です。

本新人研修は、国土交通省の定めるスキルアッププログラムに基づく研修です。関西では3日間の受講者に修了証をさしあげます。

お申し込みは、IJCEE ランゲージスクールで開始しております。皆様のご参加をお待ちしております。

◆日程

月 日	時 間	内 容
3月21日 (金曜日、祝日)	9時10分～10時30分	講義・基礎知識1
	10時40分～12時00分	講義・旅程管理
	13時～17時30分	京都研修 (金閣・竜安寺・二条城)
3月22日 (土曜日)	9時10分～10時30分	講義・基礎知識2
	10時40分～12時	講義・関西観光情報
	13時～17時30分	京都研修 (三十三間堂・清水・南禅寺)
3月23日 (日曜日)	9時～18時	奈良研修 (東大寺、興福寺、春日大社)

・3月21日18時15分から、有志の方で夜の祇園の散策をします。散策後に先斗町界限で交流会を予定しています(別途ご連絡)。

◆講義会場

3月21日、3月22日

ひと・まち交流館 京都

(地図、詳細はこちら→<http://www.hitomachi-kyoto.jp/access.html>)

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1 (河原町五条下る東側)

3月23日

奈良集合 (詳細な集合場所は後日ご連絡します)

◆受講料

第1回～第3回：一般 各回 8,400円

IJCEE 会員 各回 6,720円

◆定員 30名



詳細及び申し込みはこちらから→

<http://ijcee.jimdo.com/new-guide/新人研修-関西-2014年/>

昨年の研修風景

□ 昨年受講された方々の感想より

◇素晴らしい講師の方々と入念に準備されたスケジュールのおかげで、とても楽しく勉強させていただいた3日間でした。本当に知らないことばかりで、まるでお上りさんのように感心したり、驚いたり。そうした感動を外国人の方にも感じていただけるようにするには、自分自身がもっともっと面白がっている知らない知らなくてはならないなあと、これからの課題をいっぱいいただいたという感じです。

◇講師の先生方が、長年培われた知識とノウハウを惜しげもなく披露してくださり、大変有難く、深く感謝しております。本当にたくさんの方を教えていただきましたので復習が大変ですが、素晴らしい研修の成果をきちんと発揮できるように精進してまいります。

□ 講師陣紹介

米原亮三氏 NPO 日本文化体験交流塾 理事長

山口和加子氏 NPO 日本文化体験交流塾 副理事長

上原 護氏 NPO 日本文化体験交流塾 理事 関西支部長

大岡やよい氏 NPO 日本文化体験交流塾会員 通訳案内士

中塚公子氏 NPO 日本文化体験交流塾会員 通訳案内士

原 祥枝氏 NPO 日本文化体験交流塾会員 通訳案内士

※この三連休の頃より、京都、奈良の観光は繁忙期に入ります。宿泊を必要とされる参加者の皆様は、宿泊場所の手配を出来るだけ早くされることをお勧めします。

◆ 2. ☆☆ 新年度の会員募集 ☆☆

NPO 日本文化体験交流塾 (IJCEE) の会員数が昨年 400 名を超えました。

IJCEE は、2014 年、次のステップへチャレンジします。即ち、これまで実施してきた外国人に対する文化研修事業と位置付けてきた IJCEE の事業も枠組みを変更して今年は飛躍を図ります。このため、子会社の株式会社小石川交流塾を増資し、第 2 種の旅行業の資格を取得し、自ら宿泊や乗り物を含めた企画旅行を実施予定です。具体的には「True Japan Tour」を創設し(現在、以下の 2 つを企画)、Discover Japanese Nature Beauty & Spirit を目指します。

★ 年 3 6 5 日出発可能。一人から開催。各地域通訳ガイド付。

- ① 東京→富士山・河口湖→名古屋→高山→白川郷→金沢→京都→奈良→大阪コース
11泊12日 JRパス利用 各宿泊と朝食付
- ② 東京→富士山・河口湖→京都→奈良→高野山→大阪
8泊9日コース 各宿泊と朝食付

上記のように**各地域の通訳ガイドが当該地区をカバーすることから、この新展開は関西支部の役割期待や会員の活躍の場の拡大に大きく寄与するものです。**

関西地区の昨年のアサイン実績は、前年度の 2 倍に増加 (アサイン件数: 日数ベースで 130 件) しました。また、茶道、寿司づくり体験も着実に増えて来ています (写真①)。一方、研修事業の方は、支部発足以来”ガイドの質を高めよう”とのスローガンのもとで取り組んできていますが、2013 年も多彩な研修を実施し、研修開催件数 21 回で延べ 375 人の方にご参加していただきました (写真②)。

まだまだ発展途上の関西支部ですが、関東での成功体験を活かして関西でも一緒に新しいインバウンドツアーを作り上げて行きませんか。

ご入会をお待ちしています!!

◇IJCEE(日本文化体験交流塾)では常時、会員・賛助会員の入会の申し込みを受け付けていますが、年度替わりの新年度は入会の大きな契機です。

会員の特典としては、

◆会員は、原則的として受講料の 20%程度、賛助会員は受講料の 5%程度が減額となります。ただし、受講料に飲食等移転的な経費が含まれるなどの場合があり、減額の金額はその都度、決定します。

◆また、体験講師・まち歩き等仕事に関する情報は会員に優先的に提供します。

◆IJCEE が出版する以下の書籍のうち、選んでいただいた A~D の 1 つを贈呈します。

A: 「通訳ガイドハンドブック」 (定価 3,600 テキスト)

C : 参考書「通訳案内士口述試験 予想問題と攻略法」(2013年)

D : 小冊子とCDによる「Ashley Warrenに学ぶ日本文化紹介」(再現)のシリーズ
2セット

なお、1月入会の場合、入会金5,000円、年会費10,000円です。

詳細はこちら：<http://www.ijcee.com/aboutus/entry01.html>

ご入会をお待ちしています！！



写真① 寿司づくり体験



写真② 東寺研修

第2 その他情報

1. IJCEE 研修関係等

◆ 1. ■ 1月～3月の研修の申し込み状況 ■

★1月25日(土)「“日本刀と包丁”研修」

好評により満席(ウエイティングリスト5名)。

【通訳ガイドの基礎力アップのための研修】

★2月11日(火、祝日) 二条城研修

好評により満席(ウエイティングリスト11名)。

二条城のスタッフによる二の丸御殿の説明

詳細はこちら→<http://ijcee.jimdo.com/kansai-guide/自主研修/二条城研修/>

【ガイド業直結型研修】

★2月24日(月) 裏紫都子氏講演会『日本人と天皇家』

好評受付中。まだ席があります！

ガイド業には必須の「天皇」について学びましょう！

【通訳ガイドの基礎力アップのための研修】

詳細はこちら→<http://ijcee.jimdo.com/kansai-guide/自主研修/裏紫都子氏講演-日本人と天皇家/>

★3月8日～10日 熊野古道研修

大型バスに切替、満席、1名ウエイティング

神宿る蘇りの地、熊野を巡ります。

【ガイド業直結型研修】

詳細はこちら→<http://ijcee.jimdo.com/kansai-guide/自主研修/熊野古道研修/>

◆ 2. ■ 上半期の研修予告 ■

★4～5月 京都観光スポット研修

シリーズで開催している恒例の研修。現在企画中ですので、ご希望等あればご連絡下さい。

【ガイド業直結型研修】

★6月3日（火）『大阪城研修』・・・4月初めに募集開始

講師：北川央氏（大阪城天守閣研究主任）

午前講義（エルおおさか）+午後大阪城ウォーク

定評のある北川先生の研修です。乞うご期待！

【ガイド業直結型研修】

★6月18日（水）14時～ 国立文楽劇場『文楽鑑賞講座』・・・3月中旬に募集開始

大阪の誇る伝統芸術・文楽を楽しみつつ学びます。

【通訳ガイドの基礎力アップのための研修】

2. 関西でのイベント・研修情報

◆ 大阪城豊臣石垣公開プロジェクト（恒久的観光施設の設立）に是非ご寄付を！！！！



今も地下に眠る豊臣石垣

○豊臣秀吉が天下統一の拠点として築城した初代大坂城は、「三国無双の城」と讃えられる豪壮華麗な城であったと伝えられています。しかし、1615年の大坂夏の陣で豊臣方が敗れた後、徳川幕府により豊臣大坂城を覆い隠すように徳川大坂城が築かれて以来、今も地下に眠り続けています。

大阪市では、大坂夏の陣から400年を機に、秀吉が築いた初代大坂城の石垣を掘り起こし、激動の時代を物語る豊臣石垣の公開事業に取り組んでいます。大阪城の歴史文化の魅力向上をめざす「豊臣石垣公開プロジェクト」にご賛同いただき、多くの皆様のご支援をお願い申し上げます。（サイトより）

申込等詳細→ <http://www.toyotomi-ishigaki.com/>

○2013年4月～11月で個人寄付が4800万円に達しました！

◆ 清水寺 身障者用参観マップ

http://www.kiyomizudera.or.jp/common/pdf/kurumaisu_map02.pdf

◆ 京都市、道路標識を外国人がわかりやすいものに掛け変え開始
金閣寺の場合「Kinkakuji」を「Kinkakuji Temple」、桂離宮なら「Katsurarikyu」を「Katsura Imperial Villa」へ！

<http://photo.sankei.jp.msn.com/kodawari/data/2013/12/26kyoto/>

◆ SAMURAI KENBU

サムライのコスチュームで剣舞体験(体験の場所は大津ですが、京都駅から送迎つき)、
予約要

- ・ コスチューム+レッスン (2.5時間) +送迎費で1名9000円。20名以上で20%引
- ・ 毎日9時、13:30、17:30

<http://www.samurai-kembu.jp/>

http://www.tripadvisor.jp/Attraction_Review-g298564-d3249405-Reviews-Samurai_Kembu_Kyoto-Kyoto_Kyoto_Prefecture_Kinki.html

トリップアドバイザーの評価は高いです。

◆ 産経ウェイブ

○2月16日(日) 13時~14時半 大阪城フォーラム「軍師二人 黒田官兵衛と後藤又兵衛」、大手門学院大阪城スクエア、申込締切:1月28日、参加費 2000円

NHK大河ドラマ「軍師 官兵衛」の放送に合わせて、大阪城天守閣北川央研究主幹が、講談師の旭堂南陵師匠を迎えて、「軍師二人 黒田官兵衛と後藤又兵衛」をテーマにフォーラムを開催します。

<http://wave.sankei-kansai.com/2014/01/post-533.php>

◆ 奈良交通期間限定ツアー 0742-22-5110

○僧侶の案内による世界遺産法隆寺伽藍特別参拝と藤ノ木古墳(7時間バスツアー)

1月19日(日)、2月9日(日)・16日(日)・23日(日)

旅行代金:4400円(食事なし)

近鉄奈良駅(8:40)→JR奈良駅(8:50)→法起寺・法輪寺(車窓から)→法隆寺(僧侶による世界遺産の伽藍ご案内)→門前で自由食→斑鳩町文化財センター(藤ノ木古墳の出土品などを展示)→藤ノ木古墳→平城宮跡資料館→近鉄奈良→JR奈良駅

◆ 近鉄文化サロン阿倍野 歴史・文化セミナー 申込要 06-6625-1771

○3月1日(土) 13時~14時半 『東大寺大仏の謎』 1500円

講師:赤川一博(美術史家、元奈良県立美術館学芸課長)

- ① 東大寺=「東」の「大寺」の本当の意味は?
 - ② 聖武天皇の体調を勘案して、天平勝宝4年(752)に未完成の大仏を開眼供養したというのは本当か?
 - ③ 聖武天皇の知識寺大仏参拝が東大寺大仏発願の契機になったことの本当の理由は?
 - ④ 東大寺は、(総)国分寺だったのか?
 - ⑤ 大仏さまの「る舎那仏」は当時としては「古くさい」名前だった。
- 以上の5つの謎を解きながら東大寺大仏さまの真の姿に迫ります。

◆ 佛教大学四条センター(四条烏丸角近く) 公開講座 予約不要 1000円
075-231-8004

○「神道」を再考する 齋藤英喜氏（佛教大学歴史学教授）

「神道」といえば、仏教や儒教などの外来の信仰が入ってくるまえの、日本在来の固有信仰というイメージが強いのと思われます。そこでは自然と調和して生きるアニミズム的な神々の世界ということがいわれてきました。しかし最近では、こうした「神道」のイメージの再考が議論されています。「神道」なるものは仏教以前からあったわけではなく、仏教徒の関係のなかで自覚、形成されてきたという研究もあります。この講座では、あらためて「神道」とは何かについて、最新の研究成果を紹介しながら、考えて見たいと思います。

1月28日（火）15時半～17時『古代に「神道」はあったのか』

「神道」という用語は、日本書紀に出てきますが、その言葉はどのような意味なのでしょう。また平安時代の日本書紀の講義記録に出てくる「神道不測」という表現の背景も探ってみます。はたして古代における「神道」とはなにか。

◆ 熊野お燈祭 2月6日夜 神倉神社（和歌山県新宮市）

熊野の神々が、降臨した巨岩のご神体「ごとびき岩」のある神倉神社。源頼朝が寄進したという538段の急な石段を上がると、ご神体「ごとびき岩」が太平洋を見据えています。「お燈まつり」は、毎年2月6日夜に行われる神倉神社の例祭で、その歴史は古く、全国の火祭の中でも最も古い勇壮な祭です。夕刻に白装束の上り子（あがりこも言う）たちが松明を手に熊野速玉大社から阿須賀神社へ詣て神倉山に集結します。午後7時に祝詞奏上、迎火松明に点火され、上り子たちの松明に順々に火が移されます。玉垣内で待機した上り子たちの千数百本の松明が天を焦がすばかりとなったとき、門が開かれ538段の石段を我先にと駆け降ります。全山が火の海と化した神倉山から、竜が下り降りるような壮観な眺めは、新宮節には「お燈まつりは男のまつり山は火の滝、下り竜」と唄われています。（サイトより）

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/000200/photomuseum/053.html>

*3月の熊野古道研修では時間がなくて「ごとびき岩」を見にいけなくて残念です。



ごとびき岩



下り竜

◆ 鳥羽の海： 相差（おうさつ）：海女が100人いる町

「夫一人を養えんで一人前の海女とは言えん」というそうです。鳥羽の海女さんたちは立派でかっこいいですね！ しかしここで生まれた現在の若い世代の女性は海女にならないとのこと。現在はお嫁入りして入ってきた人は練習して海女になったり、男性の海士が増えているようです。現在は白い服ではなく黒いウェットスーツを着ます。

海女さんたちを上手に映したビデオ→

<http://www.youtube.com/watch?v=-WmqrIprUDk>

【カチド（徒人）】

1人で岸から磯場まで、磯桶や浮樽などにつかまって泳いで行き、主に4~10メートル程度の浅い漁場で作業をします。現在の相差ではこのカチドが大半を占めています。

【フナド（船人）】

トマエと2人で船に乗り、カチドより深い漁場で作業をします。トマエは20メートル程度の深さまで潜った海女を引き上げる役割を担っており、2人の呼吸が合わない事故につながるため、フナドの多くが夫婦です。



カチド



フナド

* 2015年に魅力あふれる地、伊勢神宮+鳥羽の海を巡る研修（2泊3日）をしようと模索中。乞うご期待！

☆☆ ミニ情報 ☆☆

○大河内山荘（嵐山・竹林の奥）：ガイドはガイド証で無料で入場できる。お客さんは入場券についてくるチケットでお抹茶+お菓子が提供されるが、ガイドはその場で300円払うと、同じものを出してもらえる（領収書も要求するともらえる）。

○海遊館（大阪・天保山）：エイジェントからの仕事の場合のみ、ノートにエイジェント名・ガイド名・ガイドの携帯電話番号を記入すると無料で入れてもらえる。

○サンタマリア号（大阪・天保山・クルーズ）：ガイドの名刺を差上げることを条件に、ガイドの乗船料を無料にしてもらえる・・仕事の際は、名刺をもっていること！

○苔寺で一時ガイド無料になったのですが、最近、お客さんが10名以上いないと無料にできないと言われたという話を聞きました。最近苔寺へ行った人は様子をお知らせください。1名3000円もしますから、一大事です。といっても3000円の中に写経代（通常2000円程度かかる）が含まれます（写経ははずせません）。

○通常は、拝観料はガイドは無料になるが、特別拝観部分の拝観料は減額されない。

※メールニュースの転送・転載はご自由にどうぞ。

NPO 法人日本文化体験交流塾 理事 関西支部長 上原 護

Address : uehara.ijcee@gmail.com

Phone: 080-5646-1100
